



イマジン ロータリー

メーカーキャップ

◎会長挨拶

脇町ロータリークラブ

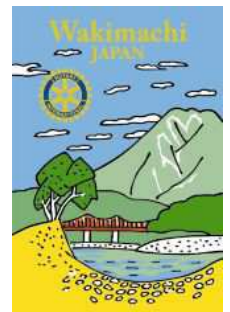
第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2022年8月25日 木曜日

第7回例会 No. 2800

会員総数：43名 出席者33名 出席率：76.74%



六車会長

皆様こんにちは。

お盆も過ぎましたが、毎日いまひとつのお天気で、蒸し暑い日が続きますが会員の皆様は体調を崩されてはいませんか？

今年は、この徳島も今の所、台風や豪雨による被害もなく安心して過ごせる毎日が過ごせています。しかしながら米作り農家にとっては、水不足により山間の谷水に頼る農業は、日々ハラハラドキドキの毎日で御座います。

地名が清水であるがゆえ、清らかな水が豊富に湧き出ているイメージがありますが、雨が降らないと厳しい現実を思い知らされます。ふと、吉野川を流れる大量の水が目に入る事がありますが、バケツに入れて持って帰りたくなる事があるほどです。収穫まで後少し、気を抜くことなく、今年も大自然で育てた健康な新米を、待って頂いている方々に無事お届け出来る事を祈っております。

先ほど吉野川の名前が出ましたが、吉野川と言えば豊島会員が私には浮かんで参ります。時折、「お白石だいぶ集まりましたか、豊島さん」と私は尋ねる事があります。以前、豊島会員の卓話で伊勢神宮の式年遷宮にて使われるお白石を吉野川にて採取されているお話を聞きました。「おしらいし」とは、20年に一度の式年遷宮で御敷地(みしきち)に白い石と黒みを帯びた石を敷き詰める事に使用されます。必要量は300トン、直径約6センチから7センチの出来るだけ丸く、にごりのない白い石でなければならない為、月に2回ほど、日曜日に吉野川へ出向き、西へ東へと採取されておられます。3年間で集めた石は50トンを超え、追加で小さな白い石も必要との事で、20トンほど既に送られたそうです。

昔は伊勢神宮近隣で調達出来ていた石ですが、近年採取が困難となり、白い石は吉野川、黒みを帯びた石は高知県で採取されているそうです。豊島会員はとても人情に篤い方ですので、お引き受けした事と思います。我がロータリークラブの小屋にあるロータリーの森看板の高価な厚板も、無償提供して頂き立派な看板が建ちました。笑いながら、「ちっと大水が出てくれな、白い石が出てこんけん困るわ」とおっしゃっていましたが、水不足は思わぬ所にまで影響があるのかと思いました。

先日、洲本RC 今期廣島会長へお電話を致しました。本来であれば親善ゴルフ大会を開催し、クラブの皆様と親睦を図りたいですが、現在のコロナの状況では楽しく開催する事が困難な為、理事会で承認を頂き、中止の旨をお伝え致しました。廣島会長も非常に残念ですとのお返事で、状況が好転したら検討致しましょうと言って頂きました。紳士なご対応に心から感謝申し上げます。皆様にもご報告致します。

本日も皆様、お元気にご出席を頂き有難うございます。

◎幹事報告

佐藤直副幹事

到着週報

到着書類

連絡事項

脇町RC入会案内が完成しました

来週例会後理事会を開催します

◎委員会報告

◎プログラム

卓話 皆さんこんにちは。今日は電気自動車についてお話をしようと思います。

浜口省一会員 最近の情勢を見ると燃料について懸念があるので、電気自動車に焦点を当ててみました。

電気自動車といっても何種類もあります。まず思い浮かぶのはハイブリッド自動車。

電気でも走るし、燃料でも走ります。モーターを利用し電気を充電しています。

次に電気のみで走る電気自動車。走行可能距離が少ないのと、充電時間に時間がかかるのが

欠点です。またインフラの整備が進んでいないのが現状です。

さらに水素燃料自動車があります。水素はどこにでもあります、保存しておくのが難しい物質です。燃えやすく爆発の危険もあります。水素を作るのにも費用が掛かるのがネックになっています。水素がもう少し取り扱いがしやすくなれば燃料問題の解決にもなるのではと思います。

この先自動車は燃料から電気などのモーターによる自動車に代わっていくのは間違いありませんが、燃料問題に関しても水素、風力、太陽光など持続可能な燃料になっていけばと思います。

友成会員、古田会員、六車会員

ニコニコボックス

ひとりごと

次回例会

プログラム

2022年9月1日(木) 12:30~

清月屋敷

卓話 小笠政義会員

- ☆ 次の会員は例会欠席でした。北川会員、木下会員、黒川会員、郷司会員、豊島会員、秦会員、藤村会員、細川会員、森会員、吉野会員。メイクアップして下さい。
- ☆ 次回例会の出欠を上栉出席委員長まで連絡してください。